

1 次期伏見区基本計画の検討にあたって

(1) 現行の「伏見区基本計画」のめざすまちづくりの将来像

○ 伏見区の将来像

水と緑と温もりのまち「伏見ですむ」

私たちにはこんな伏見に住みたい、 住み続けたいと思いません

山の緑、青い空、ゆるやかな川の流れが澄みわたり、この豊かな自然の温もりに包まれて、多彩な歴史と文化を育み、多様な生活圈を持つまちに、人々が元気に働き、交流し、多様な動植物と共に住む。暮らしと働く場が共にあり、暮らしにかかわるあらゆるものが地域内で循環し、いろんなことが区内で済む。これからもずっと、やさしく生き物を包み込み、多様な人々の活動を見守るそんな伏見のまちであってほしい。

○ 「伏見ですむ」3つのまちづくりの基本目標

伏見区の将来像の実現に向けて、「伏見ですむ」3つのまちづくりの基本目標を設定しました。



伏見区全域のまちづくりの取組目標

「伏見ですむ」ことの想いを実現するまちづくりを進めます。

- 循環型社会の要を担い、環境共生・低炭素社会の魁をめざします
- 自然と歴史がいきづく地域の魅力を学び、発信します
- 伏見力を活かし、「新しい京都」のまちづくりを牽引します
- 地域のコミュニティが人を育み、すこやかな暮らしを支えるまちをめざします
- 安心安全で、人にやさしい便利なまちをめざします

(2) 計画策定後の社会情勢の変化

環境

◆ 地球温暖化の加速 ⇒ 2050年の二酸化炭素排出量正味ゼロに向けた社会の実現

世界の平均気温の上昇を1.5℃以下に抑えるべく、2050年ごろまでに二酸化炭素排出量の「正味ゼロ」に向けて、あらゆる方策を追求し具体的な行動を進めていくことを決意し、世界に訴える「1.5℃を目指す京都アピール」を発表（令和元年5月、IPCC第49回総会開催記念シンポジウム）

◆ 食品ロス、プラスチックによる海洋汚染 ⇒ ごみを出さない循環型社会の構築

持続可能な社会の実現に向けた食品ロス削減・京都アピール（平成30年10月、食品ロス削減全国大会 in 京都）

魅力

◆ 違法民泊、オーバーツーリズムの問題 ⇒ 区民生活と調和した観光振興

・京都市民泊対策専門チームの設置（平成29年4月）、民泊の適正な運営に向け「京都市住宅宿泊事業の適正な運営を確保するための条例」を施行（平成30年6月）

・観光客急増による課題（ゴミ問題や交通混雑等）の解決に向け「伏見稻荷大社周辺の住みよいまちづくり会議」を設置（平成31年3月）

・観光分散化と地域活性化を目指す「とっておきの京都プロジェクト」と連動した「伏見観光プロジェクトチーム」を設置（平成30年1月）

◆ 中小企業を取り巻く環境の変化 ⇒ 地域企業の持続的発展の推進

「京都・地域企業宣言」の理念に賛同し、「京都市地域企業の持続的発展の推進に関する条例」を施行（平成31年4月）

共生

人口減少と少子高齢化

◆ 地域コミュニティの希薄化 ⇒ 人と地域の絆や信頼を強める地域コミュニティの活性化

京都市における自治会・町内会の加入促進に関する協定（平成29年3月）

◆ 連続する災害の発生 ⇒ 防災意識社会の構築

行政区を超えた協力体制の構築や情報共有等、全市的な自主防災活動の活性化に向け「京都市自主防災会連絡会」を結成（平成30年7月）

◆ 潜在化する社会的孤立問題、高まる介護ニーズ、8050問題 ⇒ 誰一人取り残さない地域社会づくり

◆「障害者」「ハイスクール」「性の多様性」等の人権問題 ⇒ 誰もが個人として尊重され、活躍できる社会の実現

分野横断的な新たな視点

「地域文化力」

文化庁の京都への全面的移転を契機に、文化を基軸として産業、教育、福祉、まちづくり等のあらゆる政策分野との連携を強化。

「第二期京都文化芸術都市創生計画」（平成29年4月策定）

「SDGs」

「誰一人取り残さない」を理念に2030年をゴールとする国連の持続可能な開発目標。

「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略等の推進によるSDGsの達成の貢献

「レジリエント・シティ」

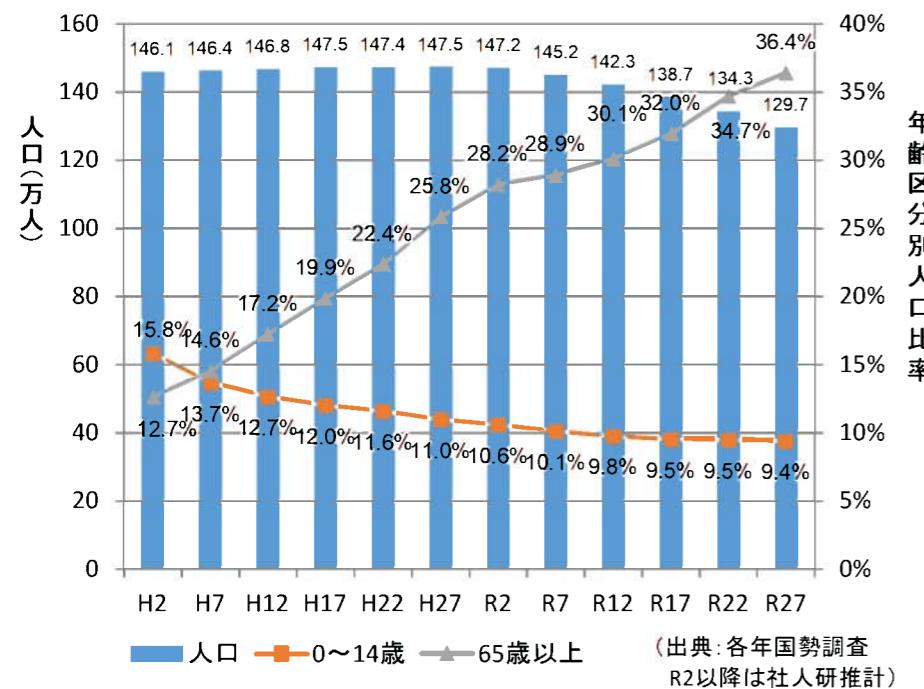
自然災害や人口減少をはじめとする様々な危機に対し、粘り強くしなやかに対応し、将来にわたって人々がいきいきとくらせる、魅力と活気に満ちた都市を実現。

「京都市レジリエンス戦略」（平成31年3月策定）

(3) 伏見区の現状（人口等の推移）

京都市の人口推移と将来推計人口

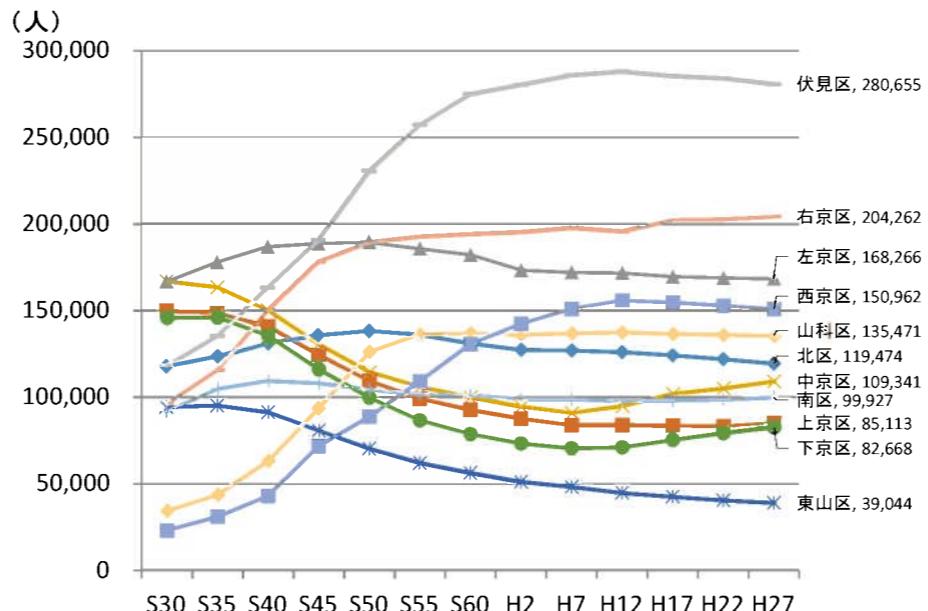
京都市の人口は平成27年をピークに、令和27年には17.8万人の減少（△12%）が予測されています。また、高齢化率は右肩上がりで上昇し、令和27年には36.4%になると予測されています。



人口等の推移

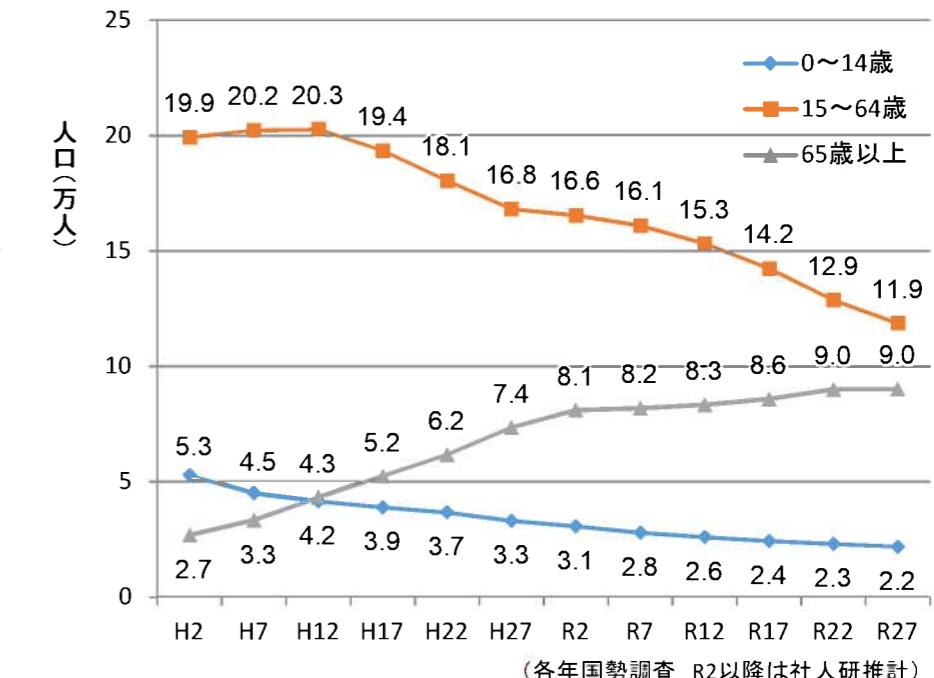
行政区別の人口の推移

伏見区の人口は平成12年をピークにほぼ横ばいで推移しています。一方、中京区、下京区では、子育て世代の都心回帰などにより、近年では人口が増加に転じています。



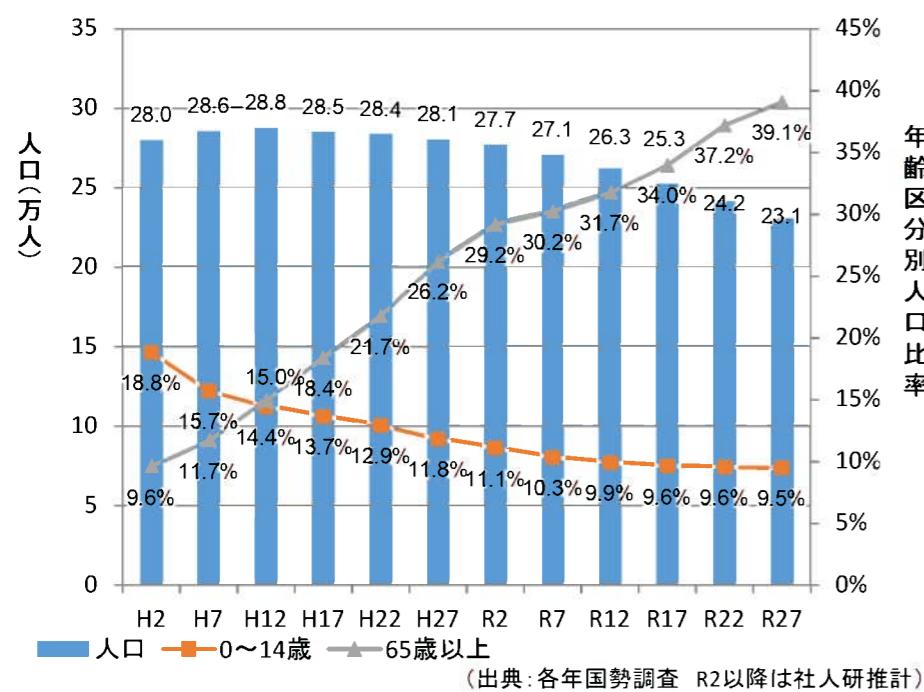
伏見区の年齢区分別人口の推移と将来推計

15～64歳の生産年齢人口は右肩下がりで減少が続くものの、65歳以上の高齢者人口、0～14歳の年少人口は今後ほぼ横ばいの推移になると予測されています。



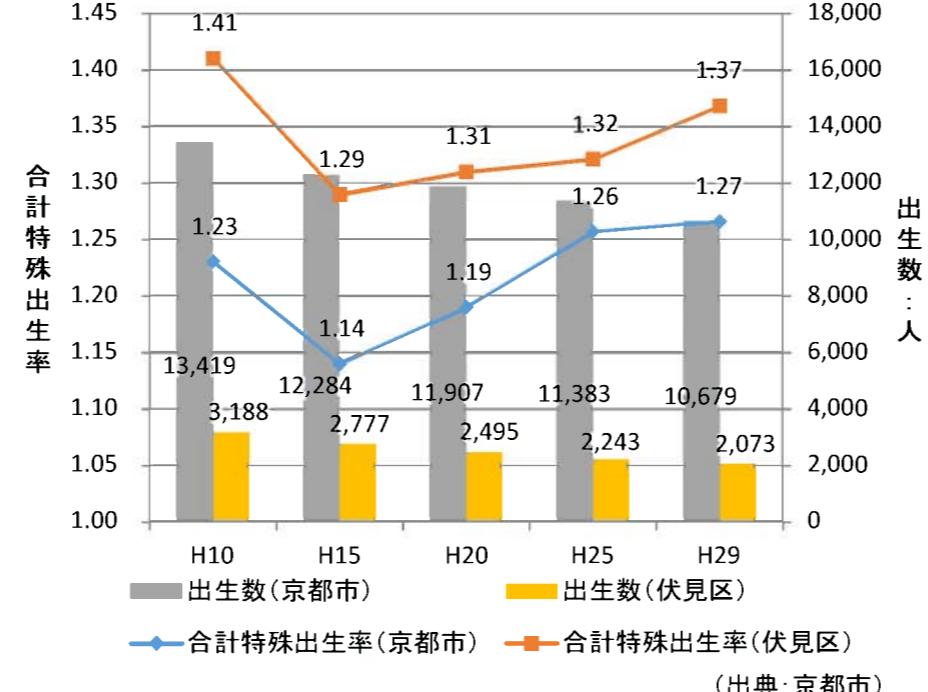
伏見区の人口推移と将来推計人口

伏見区の人口は平成12年をピークに、令和27年には5.7万人の減少（△19.8%）が予測されています。また、高齢化率は右肩上がりで上昇し、令和27年には39.1%になると予測されています。



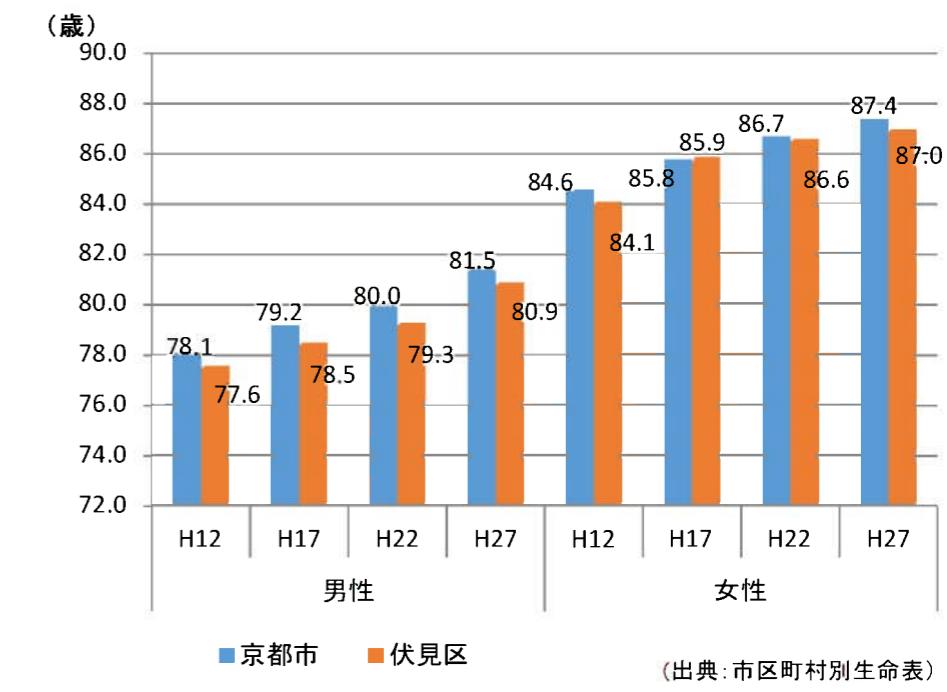
伏見区の出生数と合計特殊出生率の推移

伏見区の合計特殊出生率は京都市平均を上回って推移していますが、出生数は京都市と同様に減少しています。
<合計特殊出生率上位>①南区1.50 ②西京区1.47 ③伏見区1.37



京都市と伏見区の男女平均寿命

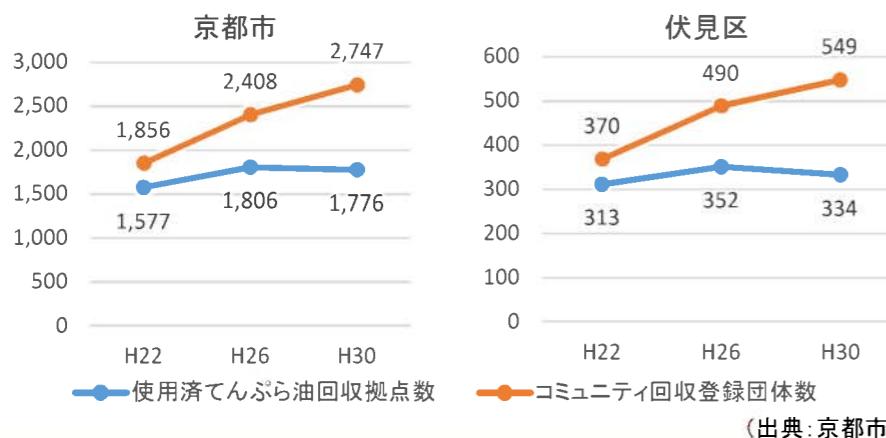
伏見区における平均寿命は男女ともに伸びてきており、平成27年で男性が80.9歳、女性が87.0歳で、京都市平均を若干下回っています。



環境

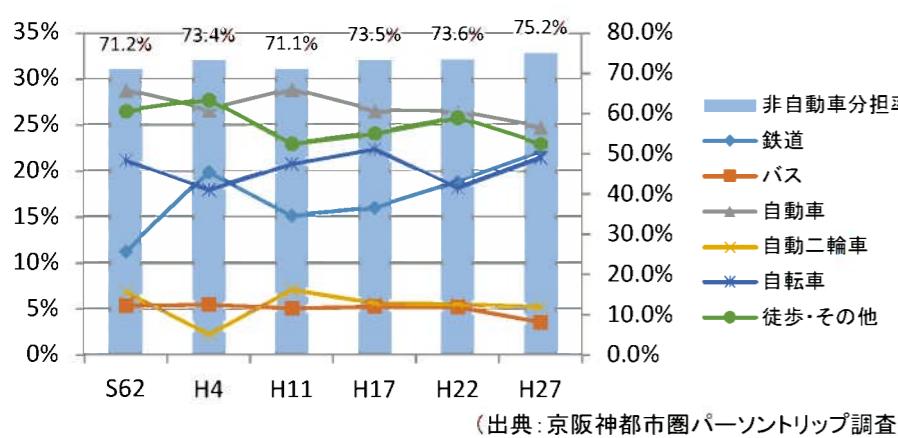
コミュニティ回収登録団体・使用済み天ぷら油回収拠点の推移

コミュニティ回収登録団体は増加傾向が続いている。使用済み天ぷら油の回収拠点数は増加傾向から減少に転じています。



京都市の交通手段別分担(依存)率の推移

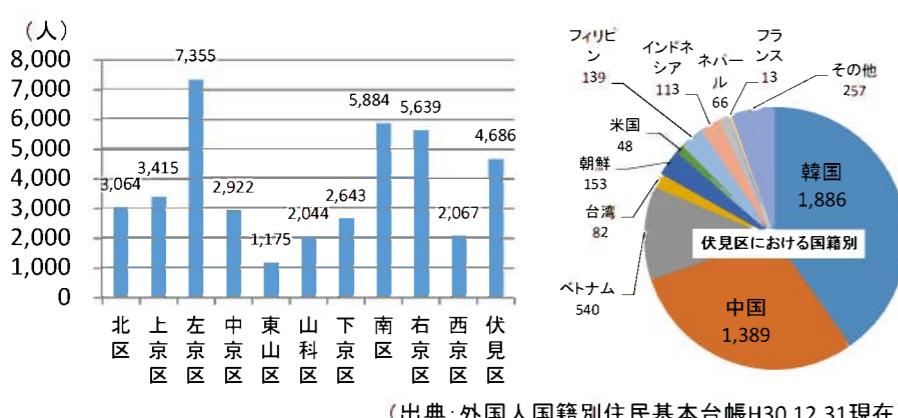
京都市における交通手段で、自動車以外の非自動車分担率は増加傾向にあります。



地域福祉・コミュニティ

行政区別外国人住民数

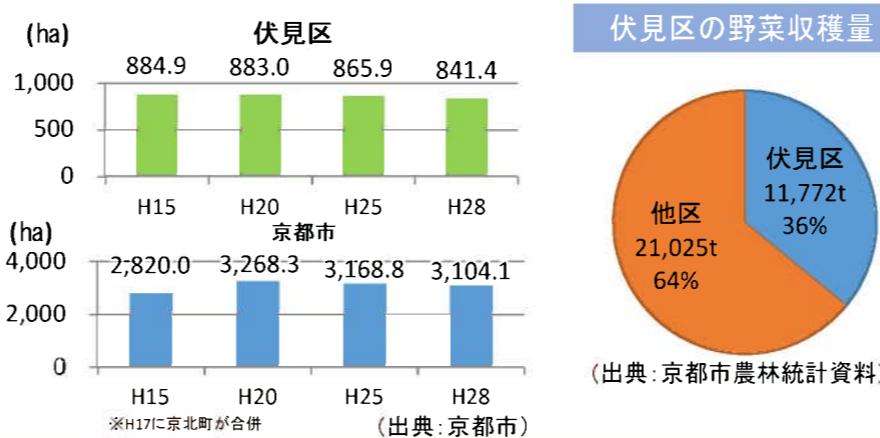
伏見区内の外国人は4,686人で行政区別では4番目に多く、また、国籍別内訳では韓国、中国が大部分を占めています。



活力（伏見力）

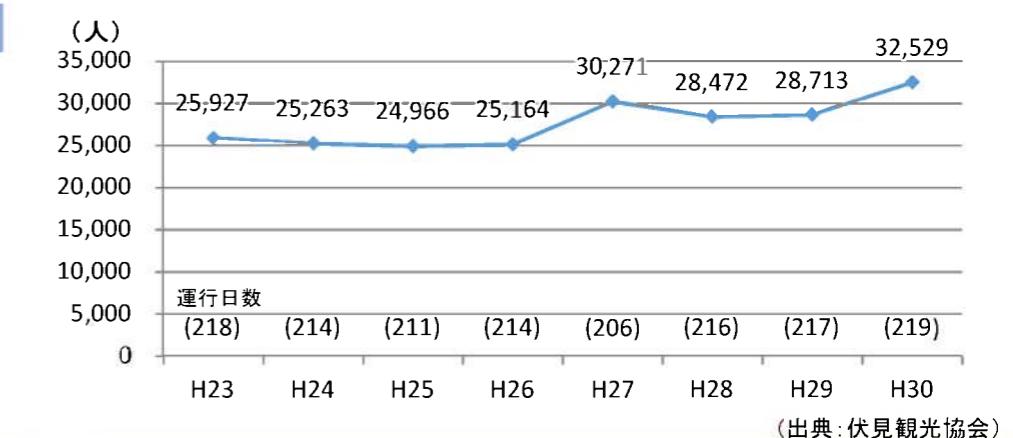
伏見区の経営耕地面積の推移

伏見区は京都市内で最も耕地面積が大きく、野菜収穫量も多いですが、徐々に耕地面積は減少しています。



十石舟の乗船客数の推移

伏見の酒蔵と水辺を楽しむことのできる十石舟の乗船者は外国人観光客の増加等により増加傾向にあります。



京都市企業立地促進制度 年度別の指定件数状況

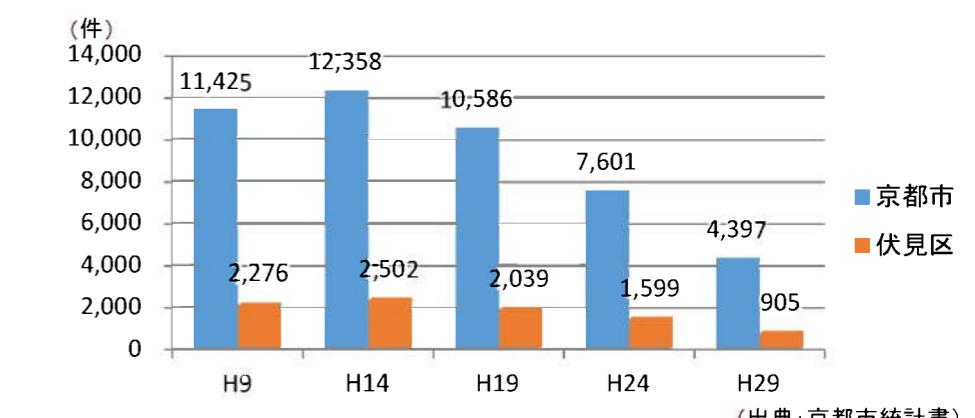
企業立地促進制度の指定件数は近年増加しており、伏見区内（らくなん進都含む）の指定件数が一定比率を占めています。



安心安全・利便性

交通事故発生件数の推移

京都市及び伏見区の交通事故発生件数は減少傾向にあります。平成29年の伏見区の発生件数は1,000件を下回りました。



(4) 伏見区基本計画の取組目標の現状

1 循環型社会の要を担い、環境共生・低炭素社会の魁をめざします

伏見区には多くの先進的な環境関連施設や環境教育施設があり、環境負荷の低減に向けた様々な取組が活発に行われています。このような伏見区を京都市、全国における循環型社会の要と位置づけるとともに、「伏見ですむ」一人ひとりのエコに対する想いや行動を紡ぎ、地域、学校、企業など身近な単位からエコライフスタイル（環境への負荷を軽減するくらし方、生き方）を実践し、環境共生・低炭素社会の魁「伏見ですみ」ます。

① 私たちは循環型社会の要を担うまちとして、「DO YOU KYOTO?（環境にいいことしていますか？）」を合言葉に、環境への負担を減らすライフスタイルの実践をめざします。

●エコライフスタイルを積極的に実践する地域づくり

太陽光などの再生可能エネルギーの普及拡大

太陽光発電システム、蓄電システム、太陽熱利用システムの設置助成などにより戸建住宅、共同住宅、集会所における創エネ、省エネ設備の更なる普及を図る。

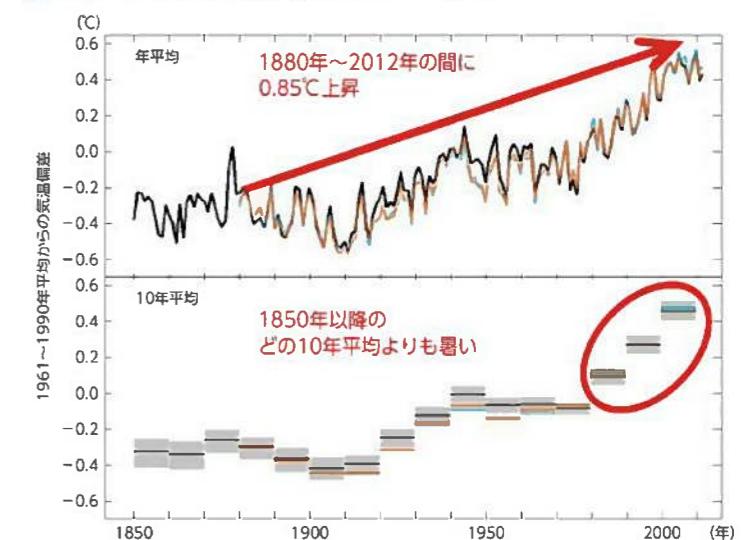
- ・水垂埋立処分場でのメガソーラー発電所の稼働（平成24年度稼働 約420万kWh/年を発電）
- ・市民協働発電制度及び太陽光発電屋根貸し制度（37施設で発電中（京都市全体））など



水垂埋立処分場メガソーラー発電所

＜温暖化に関する世界と京都の動向＞

図1-1-2 世界平均地上気温の偏差 (1850年～2012年)



注：線の色の違いは、使用している観測データの違い。
資料：気候変動に関する政府間パネル（IPCC）[第5次評価報告書第1作業部会報告書]より環境省作成
(出典：環境省「平成30年版 境界・循環型社会・生物多様性白書」より)



エコまちステーションの活動

●環境関連施設を活かした最先端の環境技術開発と環境学習の推進

南部クリーンセンター第二工場建替え整備事業

高効率なごみ発電やバイオガス発電等の最新の廃棄物処理設備を整備するとともに、環境学習施設を整備する。

- ・最新鋭の南部クリーンセンター第二工場稼働、最先端の環境技術が学べる環境学習施設「さくてな京都」のオープン（令和元年10月）など



環境学習施設を併設した最新鋭の南部クリーンセンター第二工場

Q3. マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。

② 私たちは公共交通機関を守ることを意識しつつ、「歩いて楽しいまち」づくりをめざします。

●公共交通機関の利用の推進

市バスの路線・ダイヤの充実や均一運賃区間の拡大、ICカードによる定期・乗継割引サービス導入等の市バス・地下鉄の利便性向上

市バスの路線・ダイヤの充実や均一運賃区間の拡大に向けた取組の推進、ICカードによる定期券・乗継割引の導入など利便性の向上を図る。

- ・IC定期券及びICカードによる乗継割引サービス等の運用開始
- ・南2号系統の区間増便（菱川～免許試験場前間で、平日の場合3～4回の区間増便）など



大岩山一斉清掃ウォーク

③ 私たちは水（河川）、緑（里山）と共生するまちを次代に継承します。

●多様な動植物が生息する河川や里山等の自然環境の保全

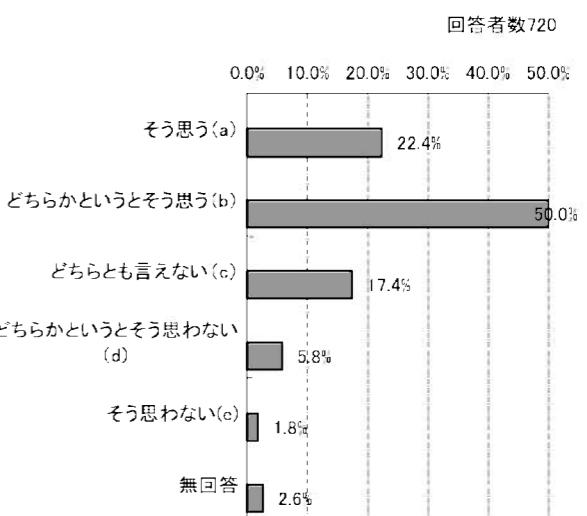
市民とともに取り組む美しい里山の再生

地域住民や大学と連携し、深草トレイルの環境整備や更なる魅力発信に取り組む。

- ・大岩山一斉清掃ウォークの開催
- ・不法投棄への対応、深草トレイルコースや大岩山展望の補修、倒木の撤去 など



環境学習施設を併設した最新鋭の南部クリーンセンター第二工場



出典：京都市市民生活実感調査（令和元年度）

2 自然と歴史がいきづく地域の魅力を学び、発信します

伏見区は、京都のほとんどの水系を集める水と緑の豊かな地域で、城下町、港町、街道筋（宿場町）として歴史的主要舞台に登場してきたまちです。このなかで育まれ、先人たちによって伝えられてきた伏見区特有の歴史的資源を次代に継承するために、「伏見ですむ」人がその魅力を学び、発信し、豊かな地域文化を育む「伏見ですみ」ます。

① 私たちは地域の魅力を学び、育み、伝えます。

●歴史、自然資源、地域産業（酒造業等）を活用した伏見のPR

伏見連続講座

地域団体や大学と連携し、伏見に関する講演会やまち歩きを通じて、「伏見魅力」を内外に発信。

- ・延べ参加者数：20,209名

参画団体：計14団体（龍谷大学、京都文教大学、京都教育大学、種智院大学、鴨川運河会議、京都中小企業家同友会伏見支部、深草古絵図プロジェクト、伏見歩き隊、伏見学舎、伏見指月城を考える会、伏見城研究会、桃山同窓会、深草ふれあい事業実行委員会、醍醐もちもちいんウォーク企画委員会）

② 私たちは水と緑を活かしたまちづくり（「伏水」環境の保全、水辺環境などの活用）をめざします。

●アメニティを高める水辺環境づくり ※アメニティ：心地よさ、快適を感じさせるものや環境

京都一周トレイル

京都市、京都府山岳連盟、京北自治振興会、鉄道事業者等で構成する「京都一周トレイル会」によって、京都の自然や歴史、文化に触れながら散策できるトレイルコースを整備する。

- ・伏見・深草ルートの開設など

③ 私たちは地域の歴史を活かしたまちづくりをめざします。

●地域の歴史を活かしたまちづくりの推進

地下鉄や醍醐コミュニティバスなどの公共交通機関を活かした醍醐地域の観光振興

地下鉄や平成16年2月の運行開始以来、住民の皆さんや観光客の大切な移動手段として、多くの方に親しまれている醍醐コミュニティバスなどの公共交通機関を活かしたまちづくりを進めます。

- ・「醍醐へGO！安心安全おでかけMAP」の作成
- ・醍醐コミュニティバスの利用者が800万人を突破（平成31年3月）、800万人乗車記念イベントを実施予定（令和元年11月）
- ・京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版（1,300円）】を地下鉄・バス一日券（900円）として新発売など

●歴史的なたたずまいを残す町並みの保全・再生

歴史的風致形成建造物の指定

地域の歴史的風致を形成し、その維持及び向上のために保存が必要なものを歴史的風致形成建造物として指定、税制面や修理等の支援を行う。

- ・歴史的風致形成建造物の指定

（伏見区 月桂冠旧本社 など）



月桂冠旧本社

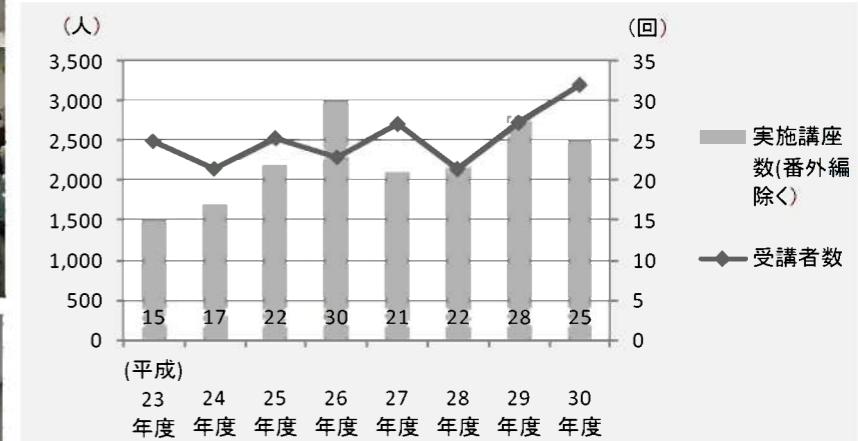


伏見連続講座の各種講座の様子



「醍醐へGO！安心安全おでかけMAP」（抜粋）

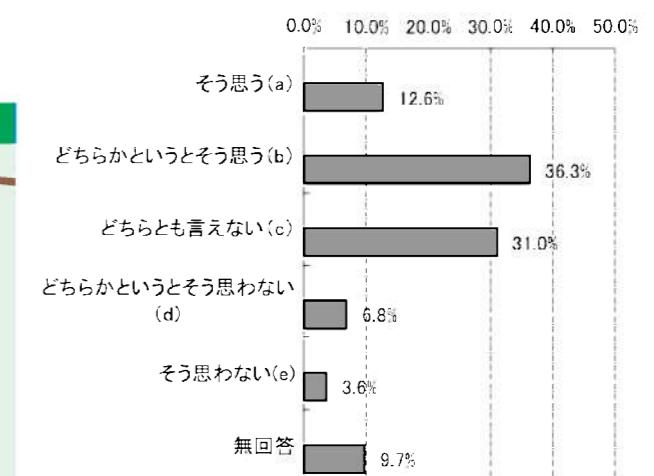
伏見連続講座の実施回数と受講者数の推移



出典：伏見区役所

Q65. 水や水辺環境が大切にされるなど、水と共に生きる意識が高まっている。

回答者数720



出典：京都市市民生活実感調査（令和元年度）

3 伏見力を活かし、「新しい京都」のまちづくりを牽引します

伏見区は、豊かな水に恵まれ、交通の要衝であるなどの強みがあり、酒造業や農業、先端産業をはじめ多種多様な産業活動が展開されています。これらの地域の強み「伏見力」を活かし、地域に密着した産業を更に元気にするとともに、京都の活力を牽引する産業を育てるまち「伏見ですみ」ます。

① 私たちは地場産業、商店街、観光が連携した地域密着型の産業を応援します。

●地域に密着した商業・商店街の振興

伏見の“農力”活用・魅力発信プロジェクト

肥沃な土壌と豊かな水に恵まれ、市内最大の農業生産地・伏見の農力の魅力について、区民へのPR、生産者や事業者のネットワークづくりの支援を通じて、持続的な発展を目指す。

- 各広報媒体を通じた伏見の「農力」の魅力の情報発信
- 生産者・事業者のネットワーク構築に向けた支援など

② 私たちは地産地消のまちづくりをめざします。

③ 私たちは地域とのつながりを大切にした産業振興をめざします。

●地域との共存共栄や雇用の創出を大切にした内発型の産業振興

らくなん進都のまちづくりの推進

土地所有者奨励金制度等による企業集積の推進、緑化助成による良好な都市環境の創出のほか、らくなん進都整備推進協議会の活動を通じたまちづくりを推進する。

- 「らくなん進都企業立地促進のための土地所有者奨励金」制度の実施（平成28～30年度まで拡充したものを受け継ぎ、更に31年度は交付対象も拡大）など

④ 私たちは伏見の豊富な観光資源のネットワーク化を進め、多様な魅力のある観光をめざします。

●観光（地域）資源のネットワーク化と総合的な活用による観光振興

伏見稻荷大社周辺の住みよいまちづくり

観光客の急増に伴う様々な課題に、地域や関係機関が主体的に連携・協力して解決していく會議を発足（平成31年3月）

- 商店街等によるごみ箱設置、マナー啓発、混雑緩和に向けた観光分散化の取組など、同會議の「中間まとめ」を公表（令和元年10月）など

とっておきの京都プロジェクト

地域や民間事業者と連携し、隠れた名所の魅力を発掘・活用することにより、市域全体への観光客の誘客を促進させ、観光地の混雑緩和を図るとともに、人と人との新たな交流を生み出し、地域の活性化に繋げる。

- 「とっておきの京都プロジェクト」公式ウェブサイトの開設（平成30年11月）

- 各種メディアを活用したエリアプロモーションなど

伏見文化・観光の語り部

伏見区にゆかりのある人自らが「語り部」となり、伏見の多様な魅力を区民目線で紹介することで、伏見ならではの多様な魅力の再発見や伏見に「住む人」と「訪れる人」が相互に交流するクリエイティブツーリズムの実現を目指す。

- 16名（特別会員4名を含む）の語り部を伏見観光協会が認定（平成30年11月）

- 「山の伏見」、「酒の伏見」をテーマにしたコースを伏見区在住の語り部が区民目線で案内（平成31年5月～ 計13回実施、64名参加）



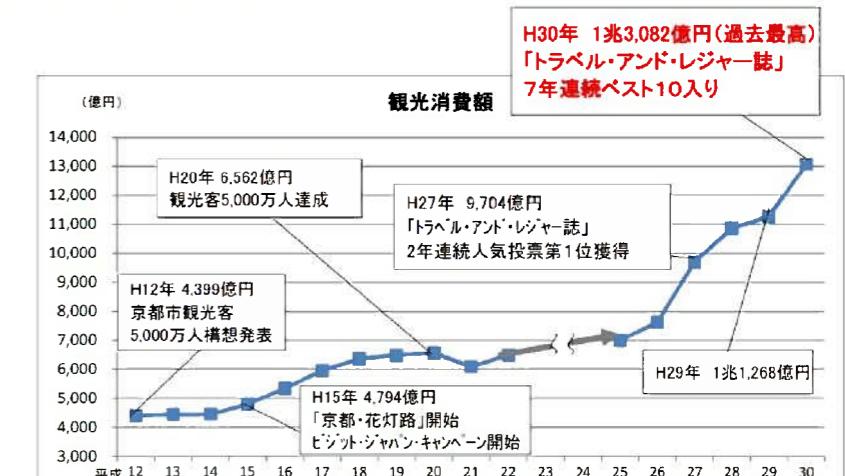
10周年を迎えた久我・久我の杜・羽束師
まちづくり協議会「ふれあい朝市」



らくなん進都
「東高瀬川クリーンアップ」



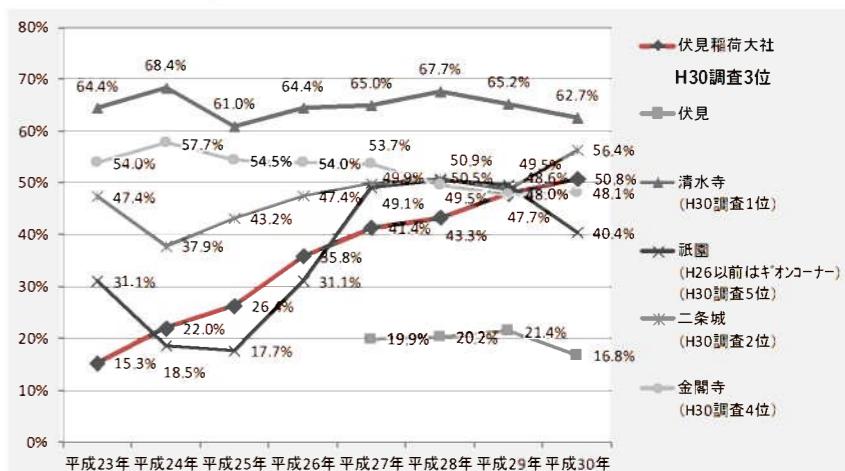
伏見稻荷大社周辺の住みよい
まちづくりの取組



(注) 平成23年及び平成24年は調査手法の変更により観光客数を推計していないことから、観光消費額の総額を推計できない。

出典：平成30年 京都観光総合調査

外国人観光客の訪問地の割合（上位5箇所と伏見の比較）



「伏見文化・観光の語り部」の活動

4 地域のコミュニティが人を育み、すこやかな暮らしを支えるまちをめざします

伏見区は、歴史的な経過や地理的条件の異なる個性豊かな地域で構成され、それぞれ特色のあるまちづくりが展開されています。一方、NPOなどの地縁を越えた活動も活発です。これらの地域における多様な「縁」が「伏見ですむ」人を育て、すこやかな暮らしのために互いに支え合うことができるまち「伏見ですみ」ます。

① 私たちは多様な個性を尊重し合う人権文化が根付く共生型社会の実現をめざします。

●互いを尊重し合う人権文化の醸成

人権に係る取組の推進

人権文化の更なる向上のため、区内の企業、各種団体、教育機関、行政、そして区民が手を携えて、「人権文化」を創造する。

- ・人権に関する講演会の開催
- ・ふしみ人権の集いの開催など

※ふしみ人権の集い実行委員会…区内の企業等80社以上が参画する「伏見区人権啓発推進協議会」をはじめ、計15団体と行政機関等が参画

●地域コミュニティを支える交流の場づくりと新たな担い手育成

伏見をさかなにざっくばらん

- ・ふしざくの開催（延べ91回、参加者5,557名）、地域の歴史や環境等の各分野で活動を展開中
つながりと活力あるまち・深草
- ・「深まるねっと」による地域活動の担い手の育成（延べ24回、参加者723名）など
- ・だいご地域若者活動応援隊
- ・子どもの居場所づくりや学区総合防災訓練等の地域活動の応援（延べ80件、343名を派遣）など



ふしみ人権の集い

② 私たちは市民活動を促進する環境を整えていきます。

●市民活動団体の連携促進と活動支援

伏見区区民活動支援事業

伏見区におけるまちづくりの将来像の実現を目指して、区民が自主的に企画し、実践する事業を公募し、基本計画の実現に資すると認められる事業に対して補助金の交付等により支援する。

- ・平成29年度から3分野（子どもの貧困対策等、健康長寿、地域防災）の重点支援事業を新設し、より地域に密着した取組を支援（累計採択件数：310件）



深草ふれあいらんど

③ 私たちは地域の福祉力、教育力を高めていきます。

●子育て環境の充実、子どもを地域で育む仕組みづくり

子どもはぐくみの取組の推進

地域や関係機関等と行政が連携し、次代を担う子どもたちを地域や社会の宝として大切にはぐくんでいくための取組を推進する。

- ・本所管内中学校と連携し、妊娠・出産・育児等を題材にした思春期教室の実施など
- ・深草管内のすべての保育園、児童館が地域の方々と連携して実施する「深草ふれあいらんど」の開催など
- ・だいごっこおでかけマップの作成・配布、だいごっこ絵画展の開催など

●地域ぐるみの健康増進の推進

健康長寿の取組の推進

市民が自ら健康づくりに取り組み、年齢を重ねてもひとりひとりのいのちが輝き、地域の支え手として活躍できる活力ある地域社会「健康長寿のまち」を実現するための取組を推進する。

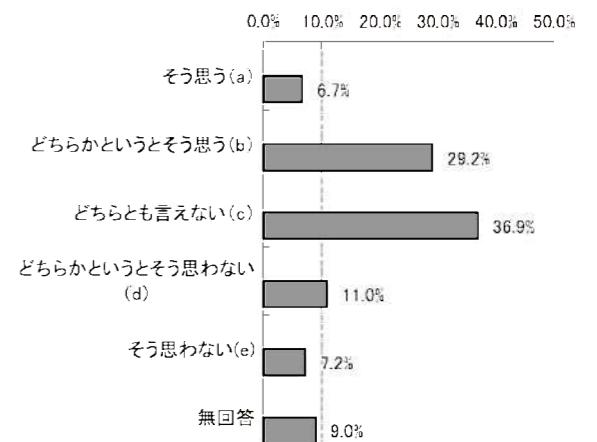
- ・地域医療機関と連携した健康教室の開催など
- ・「深草まるごと健康フェスティバル」の開催など
- ・「おいでやす・いきいき応援ひろば」の実施など
- ・「歯っぴースマイル大作戦」の実施など



おいでやすいきいき応援ひろば

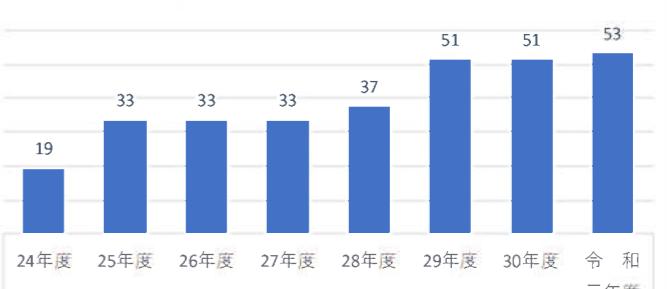
Q29. 国籍、民族、文化等が違っても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらせるまちになっている。

回答者数720



出典：京都市市民生活実感調査（令和元年度）

伏見区区民活動支援事業の採択件数の推移



出典：伏見区データ



健康づくり教室

5 安心安全で、人にやさしい便利なまちをめざします

伏見区は、幹線道路や鉄道が南北を貫き、京都と大阪をつなぐ交通の要衝であるものの、区内の交通ネットワークは十分とは言えず、生活道路の安全対策も求められています。「伏見ですむ」人の営みと暮らしを支える交通や道路が整い、安全で快適に住み続けることができる、人にやさしい便利なまち「伏見ですみ」ます。

① 私たちは安心安全に暮らせる環境づくりを進めていきます。

●地域ぐるみの交通安全、防犯対策の推進

世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動

平成27年3月に策定した「伏見区版運動プログラム」に基づき、街頭犯罪の防止、子どもたちの安全対策など、身近な安心安全の確保を目指し、区民、事業者等と共に活動を行う。

- ・「市民しんぶん伏見区版」への防犯情報の掲載（毎月掲載）
- ・街頭啓発活動の実施、防犯カメラ設置促進補助事業の実施
- ・安心安全ブロックニュースの発行（年2回）、安心安全マップの発行、マンガ版防犯マニュアルの配布、安心安全ラジオの放送
- ・「みんなでつくる！安心安全のまち深草」の発行（年2回）、管内大学における学生向けの防犯啓発活動の実施、観光客向けのマナー啓発リーフレットの作成、配布
- ・「醍醐安心安全ニュース」の発行（年2回）、子どもの居場所における「醍醐安心安全教室」の開催、「安心安全おもてなしのまち醍醐小学生標語展」の開催、「ワン・ワン大作戦（街頭啓発・パレード等）の実施、防犯寸劇の開催、「詐欺かもだまされないで！シール」を一人暮らしの高齢者に配布



「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」伏見区推進協議会



●防災対策の推進

地域防災支援プロジェクト

地域における防災活動への支援や、円滑な避難所開設・運営に向けた取組への協力をを行うとともに、区民の防災意識を高める取組を実施する。

- ・伏見区自主防災連絡会の設置（平成24年1月）
- ・地域の防災関係団体が実施する防災対策事業の支援
- ・地域の避難所開設・運営訓練等の防災行事への参画
- ・防災研修会（HUG研修）の実施
- ・防災講演会の実施



「京都アニメーション放火事件」を受け、
伏見区自主防災会連絡会緊急情報連絡会議を開催

●安心安全に暮らせる住環境の整備

大岩街道周辺地域の良好な環境づくりの推進

「大岩街道周辺地域の良好な環境づくりに向けたまちづくりの方針」に基づき、まちづくり協議会の支援など、良好な環境づくりを誘導する。

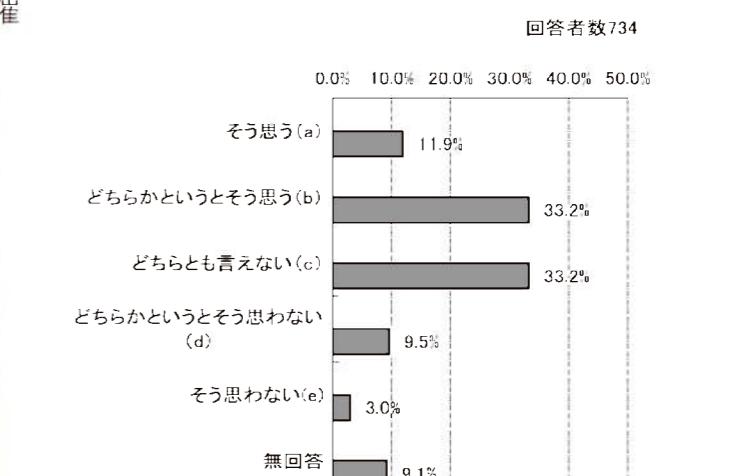
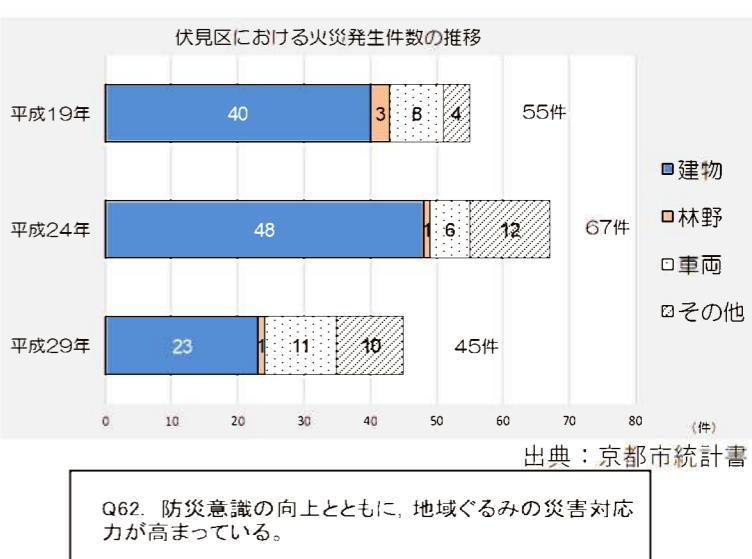
- ・地域の将来像や取組を検討するためのまちづくり協議会への支援、地区計画の目標（案）の作成、まちづくりニュースの作成など
- ・岡田山撤去連絡協議会の開催（年2回）
- ・鎮守池及び監視小屋跡地における地元及び大学との共済による環境整備等



大岩街道周辺地域Bエリアまちづくり協議会



伏見区総合防災訓練



出典：京都市市民生活実感調査（令和元年度）

(5) 伏見区基本計画の地域別の取組目標の現状

旧伏見市・竹田・桃山地域

“みんなが見たい、聞きたい、話したい”歴史がいきづく元気なまち

豊かな緑に抱かれた豊太閤の城下町。京の都を北に望み、清冽で豊かな湧水と水運を背景に、政治・経済の中心として繁栄を極めた地。酒蔵と古い街並みをとどめる地域を一層活性化させるために、商店街等をはじめとする「伏見の町衆」の力を結集していきます。

住民力の結集と誰もが参加できる機会づくりによる活気あるまちづくり

- ・ 住民同士が交流できる場所づくり、体制づくり（学校と地域の連携強化） ほか

暮らしの中にいきづく身近な自然や歴史・文化など、地域の魅力資源を活かしたまちづくり

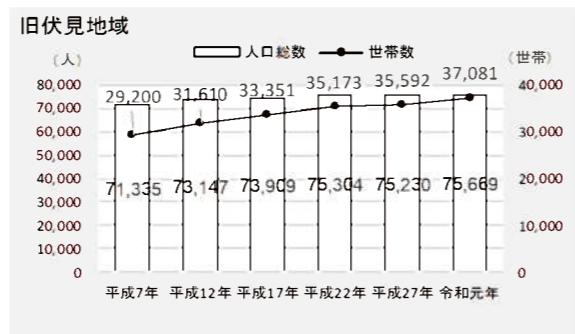
- ・ 歴史資源・地域の魅力資源の観光ネットワークづくり（地域の魅力資源・観光スポットなどのマップ、魅力資源や施設等の案内、観光コースづくり等） ほか

多様な世代や観光客に地域情報等をアピールし交流するまちづくり

- ・ 地域住民や事業者など、異世代・異業種間の交流ができる場づくり（住民、事業者、大学生等も交えた情報交換・交流の場、地域プラットフォームづくり） ほか



十石舟が運行する宇治川派流の整備



下鳥羽・横大路・納所・淀地域

私たちがつくる美しい水と歴史が輝くみんなが集うまち

古から京都と大阪を結ぶ交通の要衝であったこの地域は、今も広域交通網の要衝であり、また、循環型社会構築の要を担う地域、南部創造のまちづくりの牽引役として、重要な役割を果たし続けています。横大路地域を中心とする伏見ルネッサンスプランの取組や淀城跡を中心とするまちづくりの取組など、急速に高まりつつある地域住民と事業者、行政の協働の機運を更に推し進め、確かな未来を築いていきます。

地域と人のつながり（ふれあい・見守り）を大切にした安心・安全なまちづくり

- ・ 地域の安心・安全マップづくり（地域住民の危機管理意識の向上、防災・水防等マップづくり） ほか

地域の歴史資源や地域産材の豊かさをアピールし、次世代につなげるまちづくり

- ・ 地域のまちづくり機運を盛り上げるイベントの開催と発展（横大路桂川・草津みなとフェスティバル

「草津みなと鰐海道祭り」など） ほか

人に身近な水辺環境の豊かさを活かした憩いの場づくり

- ・ 堤防や河川敷、人に身近な水辺の美化、清掃活動 ほか



横大路桂川・草津みなと



淀城の堀のハス（淀姫）の
復活プロジェクト



久我・羽束師地域

多世代が住む 緑豊かな誰もが好きになれるまち

かつて緑豊かな田園地帯だったこの地域も、近年の急激な宅地化によって大きく変貌しつつあります。「久我・久我の杜・羽束師地域まちづくり協議会」の取組を中心に、地域住民と行政の協働で誰もが何世代にもわたって住み続けたいまちづくりをめざします。

人と人のつながり（交流・見守り）を大切にしたまちづくり

- ・ 住民同士が交流し憩える場づくり（交流できる場所と機会づくり） ほか

住民の力が發揮され、安心・安全で住み続けられるまちづくり

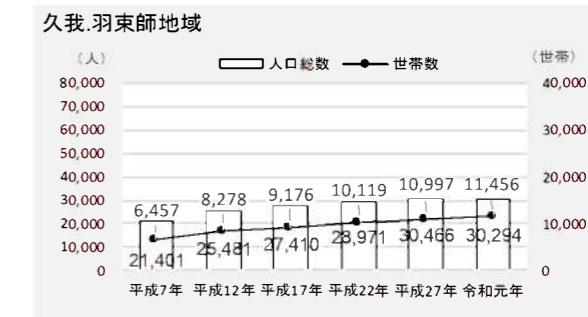
- ・ まちづくりビジョンの実践（まちづくりビジョンに位置づけられた取組等の実践） ほか

まちに身近な自然や田園、歴史・文化を大切にし、次世代につなげるまちづくり

- ・ 地域の自然、農業を活かした体験型学習の取組（地域の農家との連携による農作業体験、身近な自然学習） ほか



久我・久我の杜・羽束師 健康福祉まつり



向島地域

“温もりとつながり”で支え合う 安心と福祉のまち

巨椋池の干拓と共に拓かれてきたかつての新興地域も成熟の時を迎えてます。地域住民主催のふれあいイベントの取組をはじめ、人々の「温もりとつながり」をキーワードに、新たな時代を築いていきます。

高齢者や障害のある人が元気に安心して暮らせるまちづくり

- ・ 障害のある人や高齢者などと関わる、情報共有ができる場づくり（コミュニケーションの場所・交流できる場所と機会づくり） ほか

豊かな暮らしを支える活発な多世代の交流があるまちづくり

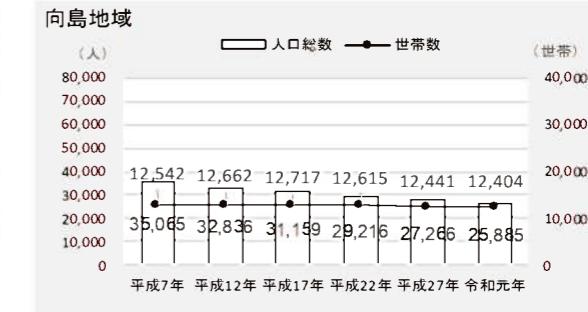
- ・ 多世代や親子（親同士・子供同士）が交流できる場づくり（関連イベント等の連携） ほか

まちに身近な自然や地域の歴史資源を大切にし、地域産材等を活かしたまちづくり

- ・ 地域の農産物（地場野菜）の販売等、定期「市」の開催（巨椋池や近隣農地で栽培された地場野菜や加工品等の朝市） ほか



向島まつり



深草地域

自然と歴史がまちを包み、まちが「ひと」を育む成熟のまち

古代からひらけ、悠久の歴史を有する深草地域。東部には、稻荷山など竹林を中心とする緑豊かな丘陵が広がり、中央部には疏水が南北を貫き、その周辺部には、十六師団が駐留した古くからのまちなどが形成され、そこには大学、高校などの教育機関や医療施設が立地しています。

地域住民や各種団体、教育機関等と一体となって、自然を守り活かす取組を更に推し進めるとともに、にぎわいのあるまちづくりを着実に進めていきます。

「地域」と「ひと」のつながり（交流・見守り）が実感できる安心安全なまちづくり

- ・ 安全安心のまちづくり（高齢者の実態把握、空家問題、通学路・散策路・駅までの道路にかかる公共交通問題等の取組）
- ・ 地域活動の横のつながりをつくる交流の場づくり（地縁組織や関係団体等による気軽に交流できる場づくり）ほか

本町通界隈にぎわいが見えるまちづくり

- ・ まちと商店街との共生によるにぎわいづくり（少子高齢化に対応した住みやすいまちづくりなど）
- ・ 疏水沿いの水辺環境づくり（疏水の桜などを活用したにぎわいづくりなど）ほか

まちの身近な自然（里山）や歴史など、環境の豊かさを享受できるまちづくり

- ・ 深草トレイルの充実（稻荷山～大岩山）
- ・ 大岩街道周辺地域の良好な環境づくりの推進（まちづくり方針の具体化）ほか

＜同地域に関連する主な「具体的な取組例」＞

- 大学との連携やまちづくりの観点からの商店街振興 ほか
- 市民とともに取り組む美しい里山の再生



大岩山－斎清掃ウォーク



深草100円商店街

醍醐地域

みんなが参加し、地域で支え合う 希望と期待が満ち溢れるまち

東と西に広がる緑豊かな山並み。まちの中央を流れる山科川。古くから京都・奈良・近江をつなぐ道が拓かれ、世界文化遺産の醍醐寺をはじめ古刹・名刹が点在するこの地域は、今は多くの公営住宅や民間マンションが立地するようになりました。

地域の足となる住民が主体となったコミュニティバスの運行、安心安全なまちづくりのたゆまぬ取組など、地域が持つコミュニティの力をより一層高め、自然や文化を大切にしながら、活気溢れるまちづくりを進めます。

安心安全な暮らしを地域と人が支え合う 地域コミュニティを大切にしたまちづくり

- ・ 高齢者や若者等あらゆる世代が交流し憩える場づくり（気軽に交流し、支え合える場所づくり）
- ・ 地域とP.T.Aとの連携による次世代のまちづくりの担い手づくり（楽しみながら参加できる活動の場づくり、次の世代への後継者育成）ほか

コミュニティバスを活かして地域の活性化につなげるまちづくり

- ・ 地域の魅力的な資源やバスルート等のマップ作成（地域の魅力的な資源の紹介、コミュニティバスの利用促進）ほか

身近な水辺環境を大切にしたまちづくり

- ・ 美しい水辺環境を守るための美化活動等の取組（山科川の水辺環境美化活動）ほか

＜同地域に関連する主な「具体的な取組例」＞

- 地下鉄や醍醐コミュニティバスなどの公共交通機関を利用して醍醐地域の観光振興を進めるためのマップづくり
- 醍醐寺周辺などの歴史的なたたずまいの保全・再生と活用の促進 ほか

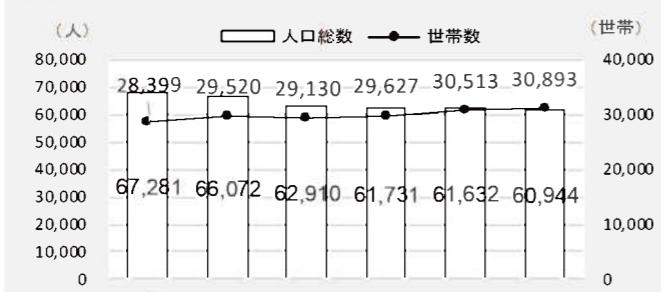


醍醐コミュニティバス



醍醐もちもちんウォーク

深草地域



醍醐地域

